

報道関係各位

報 道 発 表
公益財団法人としま未来文化財団
令和 8 年 4 月 1 日

【豊島区】春、生涯学習で新しい自分に出会う一歩を。

サークルからプロになった落語家も登壇した、学びの祭典レポート



公益財団法人としま未来文化財団（所在地：東京都豊島区、理事長：合場直人）は、2026年3月1日（日）、としまセンタースクエア（豊島区南池袋 2-45-1 豊島区庁舎 1F）にて、「生涯学習フェスティバル～地域文化創造館を知ろう～」を開催しました。

「学びいろいろ、自分色見つける！」春の訪れとともに動き出す参加者の情熱

「未来の自分をデザインする学びのヒントを見つけに来ませんか？」

このキャッチコピーを掲げた本イベントには、新年度を前に「新しいことを始めたい」と願う 415 名の来場者が集まりました。吹き抜けの開放的な空間には、ステージの歓声とワークショップに没頭する静かな熱気が混ざり合い、常に活気あふれる空間となりました。

【開催の背景：なぜ今、豊島区で「学びの場」が必要なのか】

現代社会において、多世代交流の減少や孤立が課題となる中、豊島区内にある「地域文化創造館」は、住民一人ひとりが主役になれる「コミュニティの拠点」を目指しています。

本イベントは、地域文化創造館を「借りる場所」から「新しい自分と出会う場所」へという認識のアップデートを目的に企画されました。地域団体、豊島区、そして住民が「教え・教わる」垣根を超えて混ざり合う「学びの交差点」を創り出すことで、一人ひとりの日常に新しい彩りを提供することが、本イベントの真の趣旨です。

躍動するステージ発表、日頃の成果が会場のエネルギーに

会場を最も沸かせたのは、地域文化創造館を拠点に活動する生涯学習団体の皆様によるステージ発表です。子どもからシニアまで、多世代がステージ上で放つ「自分色」の輝きに、観客からは大きな拍手が送られました。

- 次世代のエネルギー：オープニングを飾った【ドキメキワRダンスキッズ】のパワフルなダンス
- 和の響きと絆：心に染み渡る【Rハサークル待夢】の演奏や【音楽倶楽部「楽しい音」】による温かいアンサンブル
- 伝統の舞：ユネスコ無形文化遺産にも登録された「風流踊り」を披露した【SAKURA】



【写真1】ドキメキワRダンスキッズ
(普段は南大塚地域文化創造館で活動中)



【写真2】Rハサークル待夢
(普段は巣鴨地域文化創造館で活動中)



【写真3】音楽倶楽部「楽しい音」
(普段は雑司が谷地域文化創造館で活動中)

千早地域文化創造館のサークルからプロの道へ。三遊亭萬都氏が語る「生涯学習の可能性」



【写真4】三遊亭萬都氏の落語&トークの様子

ステージには、落語家・三遊亭萬都（さんゆうてい まんと）氏も登場。かつて千早地域文化創造館（※改装工事のため現在休館中）の社会人落語サークルに所属していた萬都氏は、まさに地域が生んだスターです。「地域での学びが人生を変え、プロの道へと繋がった」という実体験は、来場者に「生涯学習の無限の可能性」を強く印象付けました。

また、講演会では、大正大学教授・東京大学名誉教授の牧野篤（まきのあつし）氏が「よきこと」をつむぐ、「よき存在」になる— みんなの「ふるさと」をつくる社会教育・生涯学習—をテーマに登壇。これからの時代の地域コミュニティの重要性を語り、多くの聴衆が熱心に聞き入っていました。



【写真5】牧野篤氏の講演会の様子

「自分色」を形にする体験。チェス、伝統工芸、そして地域の絆

体験ワークショップでは、「こぎん刺し」「プリザーブドフラワー」「バードカービング」「チェス対戦」といった多彩なラインナップを展開。

会場内には豊島区で活動する社会福祉法人豊芯会運営の「café ふれあい」も特別出張し、温かい飲み物や軽食が交流を深める一助となりました。また、財団マスコット「としまくん」も登場し、会場は終日温かい笑顔に包まれました。



【写真6】「ござん刺し」体験の様子
(普段は駒込地域文化創造館で「津軽ござん刺しを楽しむ会」
として活動中)



【写真7】café ふれあいの出張営業
(普段は豊島区庁舎4階で営業中)



【写真8】としま未来文化財団マスコットキャラクター
「としまくん」

「不満」なしの100%ポジティブな反響と参加者の声

今回のフェスティバル最大の特徴は、地域文化創造館と、生涯学習・スポーツ課の「多文化共生ゼミ」、豊島区教育委員会の「としまPゼミ」、といった区の団体と協同で実施した点にあります。

この一体感のある運営により、アンケートでは「期待外れだった」という回答が0%、満足・普通を合わせた**ポジティブな反響が100%***という驚異的な結果を記録しました。

※「今回のイベントの内容は」アンケート回答：「満足」77.3%、「普通」22.7%より

今回のイベントの内容は



【来場者のお声（アンケートより抜粋）】

「講演とワークショップが同じ会場にあることに驚いたが、一日参加してみて、それが上手く成り立つことが発見だった。素晴らしい。」

「踊りが元気でエネルギーをもらった。主催者の熱意が伝わってくる催しで、今後も続けてほしい。」

「セミナーなどこれまで一人で参加することが多かったが、今回、意気投合できる方とお会いできた。」

「初めてこのようなテーマを持ったイベントに参加したが、とても良かった。来年もやって欲しい。」

今回のイベントに参加して、
何か新しく趣味や活動を始めたいと思いましたか？



また、これまで地域文化創造館を「全く知らなかった」層が27.3%いたにもかかわらず、アンケート回答者の**95.4%***が「**新しい趣味や活動をぜひ始めたい**」「**興味がわいた(機会があれば始めたい)**」と回答。

※「今回のイベントに参加して、何か新しく趣味や活動を始めたいと思いましたか？」アンケート回答：「ぜひ始めたい」22.7%、「興味がわいた(機会があれば始めたい)」72.7%より

本イベントが、潜在的な学びのニーズを掘り起こす「コミュニティの交差点」として機能したことが証明されました。

【写真9】地域文化創造館PR展示ブースにて
来場者に職員が説明をする様子



地域文化創造館を「文化・学びのハブ」にするために

豊島区内5箇所（駒込、巣鴨、南大塚、雑司が谷、千早※改装工事のため休館中）に展開する地域文化創造館は、住民の皆様が自分らしい「自分色」を見つけるための伴走者です。新年度の始まりとともに、今回のフェスティバルで生まれた熱量を日々の講座やサークル活動へと繋げ、より豊かな地域コミュニティの実現を目指してまいります。

■開催概要

- ・イベント名：生涯学習フェスティバル～地域文化創造館を知ろう～
- ・日時：2026年3月1日（日）10:00～16:00
- ・会場：としまセンタースクエア（豊島区役所本庁舎1階）
- ・来場者数：415名
- ・登壇者：三遊亭萬都（落語家）、牧野篤（大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授）
- ・ステージ参加団体：ドキメキワRダンスキッズ、尺八サークル待夢、音楽倶楽部「楽しい音」、SAKURA、としまコミュニティ大学多文化共生ゼミ（豊島区生涯学習・スポーツ課）、としまPゼミ（豊島区教育委員会事務局庶務課）、
- ・体験ワークショップ：こぎん刺し、プリザーブドフラワー、バードカービング、チェス対戦
- ・特別協力：社会福祉法人豊芯会「cafe ふれあい」、みらい館大明ブックカフェ

主催：公益財団法人としま未来文化財団地域文化課

共催：豊島区

【お客様からのお問い合わせ先】

生涯学習フェスティバル事務局（公益財団法人としま未来文化財団地域文化課南大塚地域文化創造館内）

TEL：03-3946-4301（平日9:00～17:00※休館日を除く）